

# 東朽網

## 学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた  
人間性豊かな実践力のあ  
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—  
自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き  
○ やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)  
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども  
○ かしこく (知)  
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども  
○ たくましく (体)  
体力づくりに励み、健康でたくましい子ども

第15号 平成28年12月9日発行 (文責) 校長 井津 京香

### 人権週間 12月5日(月)～9日(金)

### だれもがみんな 幸せになれるように・・・

今から68年前の12月10日「二度と戦争をして人々を傷つけあってはいけない。誰もが幸せに暮らせるように。」という願いから、『世界人権宣言』が採択されました。この宣言に基づいて、人間が生まれながらにもっている社会で生きるための権利を再認識し、人権についてより深く考えたり、社会の様々な人権問題について関心をもったりすることによって、今、自分にできることを考え、社会の平和や人々の幸福を願う気持ちを育む学習をしています。

### なかよし平和集会 11月30日(水)

### なかよしたてわり活動 12月1日(木)

5年生のなかよし委員会の子ども達が、『ともだち おまじない』の絵本の読み聞かせをしてくれました。「おはようございます。ありがとう。ごめんね。いいよ。お願いします。」などの挨拶で、心が通い合い、友達となかよくできるということを教えてくれました。

6年生は、総合的な学習や修学旅行で学んだ「原爆の悲惨さ・平和の尊さ」について、実感したことをもとに、切実な思いをもって伝えてくれました。



昼休みに、登校班の縦割りグループで、遊びました。下級生のことを気遣いながらお世話をする上級生の姿に感心しました。下級生も、お兄さんお姉さんの優しさに触れ、上級生へのあこがれをもつことができましたと思います。



### 誓いの言葉 「平和な世界をつくるために、平和な未来をつくるために、行動します」

- ・けんかをしてもすぐに仲直りすること
- ・友達や家族を大切にすること
- ・いじめや差別をしないこと
- ・友達と誘い合って、仲良く遊ぶこと
- ・笑顔で挨拶をすること
- ・相手の気持ちを考えて行動すること
- ・やさしい言葉を使うこと
- ・人のよいところをたくさんみつけること
- ・困った時には助け合うこと
- ・戦争のことを知り、おそろしさを伝えていくこと
- ・「ありがとう ごめんね いいよ」が言えること
- ・あたりまえに暮らせる毎日が「幸せ」だということを忘れないこと

### 2年生 生活科「まちの人と なかよくなろう ～東朽網プレイパーク～」 11月22日(火)

市民センター「男のよか余暇塾」の皆さんの「東朽網プレイパーク」に招待していただきました。手作りの遊具(竹馬、竹かっぱ、水鉄砲、火おこしの道具、竹琴、まと当てなど)で、思いっきり遊ばせていただきました。また、丹精込めて育てたサツマイモを「焼き芋名人さん」が焼いてくださり、子ども達と一緒に食べました。「よか余暇塾」の皆さんと一緒に体験したり、質問をしたりすることによって、校区には自分たちのことを大切に思い、見守ってくださっている方がたくさんいることに気付き、これまで以上に東朽網のまちに、親しみや愛着をもつようになりました。

焼き芋も、とってもおいしかったです。このことは、絶対に忘れません。

ぼくたちのためにいろいろな遊びを考えて準備してくださってありがとうございました。

水でっぼうをするのは初めてでした。よく飛んだのでびっくりしました。



竹の登り棒が楽しかったです。難しそうだったけど、下から押しもらったので、上まで登れました。

竹で楽器ができるなんてびっくりしました。長い方から順に、ドレミの音がしたので不思議でした。

### 4年生 総合「ぼく わたしたちの 朽網川」 ～昭和池から干潟まで～ 11月17日(木)28(月)

カブトガニを守る会の高橋さんに、朽網川の上流の水源から河口の干潟まで案内していただきました。朽網川の水はどこから、どのように、そしてどこへ流れているのかを五感を使って観察し、豊かな自然(水辺の草や水中生き物など)を感じ取っていました。干潟では、「環境を守る会」の川江さんに、今から200年以上も前に造られた「潮舞」(新田にある塩分濃度を調節する池)の仕組みや昔の人の知恵や思いについて説明していただきました。

#### 水源を求めて・・・



中央公園から下流へ



潮舞見学

- ・山の道はスポンジみたいでふわふわしていました。道の下にも水が流れていると知ってびっくりしました。
- ・朽網川や干潟には、絶滅危惧種の植物や生き物がいると聞いてびっくりしました。
- ・上流はごみがなくて、水が澄んでいてきれいだったけど、海に近づくにごみが多くなっていました。
- ・地域の人たちが、協力して川や干潟のごみ拾いや掃除をしてくれているから、こんなにきれいなんだなあと思いました。
- ・「潮舞」は、新田に海水が入らないように守っていると聞いて、昔の人達はすごいなあと思いました。